

令和6年

目黒区教育委員会

第24回定例会会議録

(令和6年7月9日開催)

第24回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和6年7月9日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	関根義孝
	教育委員会教育長職務代行者	川嶋春奈
	教育委員会委員	片山 覚
	教育委員会委員	若井田正文

出席職員	教育次長	樫本達司
	教育政策課長	高橋直人
	学校統合推進課長	西原昌典
	学校運営課長	関 真徳
	学校ICT課長	藤原康宏
	学校施設計画課長	岡 英雄
	教育指導課長	寺尾千英
	教育支援課長	末木颯子
	統括指導主事	鈴木将大
	統括指導主事	佐藤泰之
	生涯学習課長	斎藤洋介
	八雲中央図書館長	坂本祐樹

書記		小見哲一
		松園拓人

(議事日程)

- | | | |
|---------|-----------|--|
| 日程第 1 | 協議事項 | 令和 7 年度使用目黒区立中学校教科用図書の採択について |
| 日程第 2 | 報告事項 | 令和 6 年度目黒区一般会計補正予算（第 2 号）について |
| 日程第 3 | 報告事項 | 新たな目黒区民センター等整備・運営事業に係る事業者公募の実施について |
| 日程第 4 | 議案第 2 6 号 | 目黒区立林間学園条例の一部を改正する条例の立案請求について |
| 日程第 5 | 議案第 2 7 号 | 目黒区立緑ヶ丘小学校等の屋内プールの使用に関する条例の一部を改正する条例の立案請求について |
| 日程第 6 | 議案第 2 8 号 | 目黒区立学校施設使用条例の一部を改正する条例の立案請求について |
| 日程第 7 | 議案第 2 9 号 | 目黒区めぐろ区民キャンパス付帯駐車場条例の一部を改正する条例の立案請求について |
| 日程第 8 | 議案第 3 0 号 | 目黒区立社会教育館条例及び目黒区緑が丘文化会館条例の一部を改正する条例の立案請求について |
| 日程第 9 | 議案第 3 1 号 | 目黒区青少年プラザ条例を廃止する条例の立案請求について |
| 日程第 1 0 | 報告事項 | 令和 6 年度目黒区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和 5 年度分）報告書（素案）について |
| 日程第 1 1 | 報告事項 | ランランひろばのサービス拡大について |
| 日程第 1 2 | 報告事項 | 教育委員会名義の使用承認状況について |

(午前9時30分開会)

○教育長 令和6年第24回目黒区教育委員会定例会を開会します。本日の欠席委員は1名です。欠席職員はいません。署名委員は片山委員です。

ただいま傍聴の申請がありましたのでお諮りします。傍聴を許可したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長 それでは、傍聴を許可することとします。

なお、以後、傍聴の申請があった場合には、22人までその都度許可することとし、委員の皆様にはお伝えすることはいたしません。

それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 令和7年度使用目黒区立中学校教科用図書採択について(協議事項))

○教育指導課長 (資料により説明)

○教育長 ただいま事務局より説明がありましたが、今回採択するのは、令和7年度から目黒区立中学校で使用する教科用図書です。

委員の皆様には、既に事務局から、教科書の見本本、「調査研究委員会報告書」、「学校調査報告書」が届けられ、一通りご覧になっていることと思います。

本日は、この報告書などを参考に、実際に教科書を手にしながらか協議を進めていきたいと思ひます。

協議の進め方ですが、本日から5回に分けて協議を進めていきたいと思ひます。まず、本日7月9日の1回目から7月23日の3回目までは、各回5種目から6種目の教科書について協議し、発行者数が多い種目については、一定程度の絞り込みを行いたいと思ひます。

その後、7月30日と8月20日の4回目、5回目の協議で各種目の候補を1社に絞りたいと思ひます。

そのうえで、8月27日に採択の議決を行う予定で進めたいと思ひますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長

それでは、そのような日程で進んでいきたいと思えます。

なお、協議の際に呼ぶ各教科書の発行者名は、お手元の資料2、発行者一覧に記載の協議用記号のアルファベットで呼ぶこととしますので、よろしくお願ひします。

本日は、「国語」、「書写」、「音楽一般」、「器楽」、「保健体育」及び「道徳」について協議します。委員の皆様には、実際に教科書を手にして感じられたことや、教科書を選定していくうえでの視点など、ご意見をいただきながら、採択候補とする教科書を2社から3社程度あげていただきたいと思えます。

まず、国語から協議を始めます。国語は4社ありますので、この中から本日は2社に絞りたいと思えます。

○委員

調査研究委員会報告書等を確認したうえで、自分の感覚を大切にしながら、それぞれの教科書を読みました。

国語はA社とC社を選びました。その理由ですが、A社は「漢字の練習」や「作者のインタビュー」など、2次元コードの内容を分かりやすく記載している点が良いと思えました。また、2次元コードの配置場所や2次元コードの一覧があるのも良いと思えました。とてもすっきりしていて好印象でした。

また、1年生の教科書の「声を届ける【音読・発表】」のページに詩の作者の動画がありました。この動画を見ると、詩に対して興味が湧くと感じ、たとえ苦手な人であっても、詩に対する見方が変わる動画だと思えました。最初に掲載されている物語も中学生になったばかりの生徒向けの内容だと思えましたし、先ほどの動画を見たことで詩に関する本の紹介も興味が湧きました。さらに、「語彙ブック」が非常に参考になると思いましたし、表紙が滑りにくい手触りである点も良いと思えました。

次にC社です。C社も2次元コードが分かりやすく、章の初めにコンテンツ一覧があるのも良いと思えました。例えば、漢字の2次元コードは、デジタル漢字ドリルになっており、タップすると解答を見ることができるので、子どもたちは気軽に勉強を進められると思えました。また、30分視聴すると必ず休憩を促すメッセージが出るところも良いと思えました。

今挙げた2社以外に良いと思った発行者についても簡単に述べます。読み物としては、B社が最も良いと思いました。具体的には、定番のお話に加えて著名な方のお話も載っており、「方言と共通語」のページでは、桃太郎の物語が様々な地方の言葉で書かれていて、音読する楽しみもありました。

一方で、B社は2次元コードが何を表しているのか分かりにくく、その配置も整理されていないと感じたため、採択候補には選びませんでした。

○委員

私はB社とA社を選びました。

まずB社ですが、教員が各章ごとに何を学ばせるべきかを理解しやすいのではないかと思いました。また、文章内の難しい言葉や、初めて出会うであろう言葉の説明がすぐ下に記載されており、生徒が理解しやすいと感じました。さらに、「学びのチャレンジ」の設問が、読解力等を養ううえで非常に良い内容になっていると思いました。

次にA社ですが、文章の後に「学びの扉」というページがあり、指導する時に教員の手助けになると思いました。

○委員

まず、国語全体の印象を述べます。現行の学習指導要領になってから年数が経過し、いずれの教科書も、「論理的に思考する力を伸ばす」、「自分の考えや思いを言語化する」、「他者の意見を聞いて分析し、合意形成に導く」など、現行の学習指導要領以前の教科書から大きく様変わりし、教科書の質が向上したと感じました。また、どの教科書も生徒が自学自習しやすく、教員が教えやすいように丁寧につくられていると思いました。さらに、学習の流れや学び方が様々記載されており、導いてくれるような形になっているのは、特に経験の浅い教員にとって、助けになるのではないかと思いました。一方で、このように誘導が多くある教科書は、経験のあるベテランの教員にとっては、自分の考えを基に創意工夫した教え方をするのが難しいのではないかとも思いました。そのため、教員の力量が問われるのだろうと思いました。

その中で私はA社とD社を選びました。

まず、A社については、学習活動の流れと学習のポイントが、それぞれ「学びへの扉」や「学びのカギ」として見開き2ページにまとめられており、生徒は学習しやすいと思いました。特に「学びのカギ」には、表現に関するポイントや、教科書全体

を通してどのように学びが発展していくのかが記載されており、巻末に一覧もついているため、学習の前後のつながりが分かるようになっていました。そのため、意欲のある生徒にとっても教員が教えるうえでも、良い教科書だと思いました。また、教員は巻頭の「学習の見通しを持とう」の内容をよく理解したうえで教えると良いのではないかと思いました。さらに、定番の教材と新しい教材のバランスが良く、写真やイラスト、色使いなどにも品性を感じ、良いと思いました。

続いてD社については、去年の小学校の教科書採択の際、「言葉の力」という表現の意味合いに違和感を覚えるということを書きました。それは、小学校の教科書には、話す、聞く、書く、読むの各単元で身につける資質能力を「言葉の力」とするとの記載がありましたが、資質能力はあくまでも資質能力であり、「言葉の力」ではないと私は思ったため、違和感を覚えていました。しかし、今回は、読むことの学習を通して身につけた「言葉の力」を学びを支える「言葉の力」で深め、話すこと、聞くこと、書くことの教材で生かすというような文章もあり、少し考え方が変わったのではないかと思いました。

その「言葉の力」を高める教材が系列化されており、学びを広げるようになっていく点が良いと思いました。さらに、読むことの領域では、「見通す」、「つかむ」、「読み深める」、「考えを持つ」、「振り返る」と5段階に分けて学習活動を整理しているところが分かりやすいと思いました。

また、国語の学習を通して未来について考えるための9つのテーマが設定されており、斬新で意欲的な試みだと思いました。各教材から直接読み取ることは少し難しいかもしれませんが、全ての教材をこれらのテーマに結びつけて設定しているところが、編集方針として斬新で良いと思いました。

さらに、クリティカルシンキングの力を育むために、同じテーマについて書かれた2つの評論文、説明文を読み比べて考えを深める教材もあり、工夫されていると思いました。また、A社と同様に、新しい教材と定番の教材のバランスが良いと思いました。

○教育長

続いて、本日欠席の委員からは、事前にA社とB社を推すという意見を承っています。

その理由としては、国語は読解力を身につけるためにある程

度の長文を読み、理解する練習をする必要があるが、A社とB社に比べてC社とD社は教材の中の文章量が少ないと感じた。A社は表紙のデザインもよく、表紙裏の詩も各学年の学習にふさわしいものが選ばれていると思った。古典等の題材に挿入されている写真等も重厚なものが使用されており、生徒にも好印象を与えられると思われる。B社は折り込み、見開きのページがなく、すっきりした印象で使いやすいと思った。

以上の理由からA社とB社を選んだとのこと。

○教育長

最後に私の意見ですが、まず国語に限らず検討に当たっては、学習指導要領に示されたポイントに照らしながら、そして生徒が繰り返し手にする書物のため、字体の読みやすさや図表の見やすさ、写真の質や全体のレイアウトといった点について着目しつつ、生徒が能動的に学べるようなつくりになっているかどうかを重視して検討しました。

その結果、国語についてはA社とC社を選びました。

A社については、巻頭に「学習の見通しを持とう」というページがあり、1年間をトータルしての見通しと、各単元その他教科やSDGsとの関連を意識させる表が掲載されている点が良いと思いました。また、巻末の「語彙ブック」により、言葉の豊かな世界を感じさせることができると感じました。そもそも語彙という言葉自体をタイトルに使っているところも良いと思いました。さらに、巻末の資料で夏目漱石の作品の冒頭部分を9ページにわたって掲載しており、これをきっかけに文庫本を手に取り、作品全部を読んでほしいと思いました。また、古典落語の案内のページに掲載されている、落語特有のしぐさを紹介する写真が非常に良く、このあたりに編集のセンスの良さを感じました。このページには、目黒のサンマも掲載されており、目黒区での使用に適しているのではないかと思います。さらに、最後のページにICT活用のヒントがあり、これも有用であると思いました。

次にC社ですが、教材として掲載している文書の一つひとつを正確に読み解いて味わう技法について、非常に丁寧に示している点が評価できます。また、「接続する語句、指示する語句」のページで、接続語と指示語についてきちんと、かつコンパクトに説明しているところも良いと思いました。また、資料編の「学習用語辞典」などもよくまとまっていると感じました。

以上の理由からA社とC社を選びました。

○教育長 意見を集約すると、まずA社については5名全員が推しているため、採択候補としたいと思います。残る1社ですが、B社を推した委員が2名、C社が2名、D社が1名ですが、これに対して何か意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。

2名の方が推した発行者が2社ありますが、特に意見がなければ、教育長である私が推したC社を残すということでご了解いただけますでしょうか。

(各委員同意)

○教育長 それでは、A社とC社を採択候補とします。
ここで、議事の都合により暫時休憩とします。

(午前10時3分から午前10時4分まで 休憩)

○教育長 休憩前に引き続き、協議を再開します。
次は、書写についての協議です。書写についても4社ありますので、この中から本日は2社に絞りたいと思います。

○委員 書写については、A社とB社を選びました。
まずA社ですが、楷書や行書などの様々な文字について写真で説明しており、とても分かりやすいと思いました。また、巻末にある常用漢字、人名用漢字の表がとても見やすく、特に小学校で既に学んだ漢字に関しては、星印がついていて、復習にも役立つと思いました。

続いてB社です。こちらにも筆遣いの説明に写真が使われており、生徒が理解しやすいと思いました。

以上の理由からA社とB社を推薦します。

○委員 まず、書写全体の感想を述べます。
どの教科書も見っていて非常に楽しく、生徒にぜひ書の魅力を理解してもらいたいと思いました。また、これまで紙の教科書だけではどうしても分かりづらかった筆遣い等について、デジタルコンテンツも利用することで格段に学びやすくなったと感じました。さらに、どの教科書もコラムが充実しており、非常に面白いと思いました。

私が推薦する2社は、A社とB社です。

A社は、国語と同じですが、教材ごとに「学びのカギ」で学習のポイントを示している点が良いと思いました。また、学習の進め方が、「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」の3段階で構成されているところも良いと思いました。さらに、「中学校書写スタートブック」では、用具の準備・片付けについて、写真付きで説明があり、書写のマナーや道具を大切にすることを育てるうえでも良い教科書だと思います。一方で、模範となる文字の筆遣いについて、一部の文字や漢字の一部分しか朱墨で書かれていない点が残念でした。

次にB社ですが、文字文化を味わい、受け継いでいこうとするB社のポリシー、考え方に共感しました。また、B社だけ紙面が大きく、文字の配置や余白の取り方、筆遣いが非常に分かりやすいと思いました。加えて、「目標」、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」、「学習・生活に生かそう」というステップがあり、単にお手本に倣い、なぞって書くのではなく、学習の目的を意識しながら考え、自ら生かし、振り返って学ぶという学習の流れが明確になっていて良いと思いました。さらに、行書においては、手の柔らかな筆遣いがとても重要ですが、「ウォーミングアップ」というページの内容がとても良いと思いました。また、書写の学習を通して国語力を高めることも大切だと思いますが、そのことを言語活動や古典文学との関連も意識して編集していると感じました。私はB社が4社の中で最も良いと思いました。

○委員

私は、A社とC社を選びました。その中でもA社が一番良いと思いました。

A社の教科書は、手に持ったときに最初は厚く、重いと思いましたが、取り外せる別冊の書写ブックがあるため、問題ないと思いました。また、コラムが充実しており、全体的におしゃれな印象も受けました。文字から様々な興味が広がっていく教科書だと感じました。

C社については、持ちやすい点や硬筆の書き込みのページが充実している点が良いと思いました。最近ではタブレット端末等で手軽に入力できますが、文字を一字一字丁寧に書く機会が少なくなっていると感じます。そのため、このような書き込むページがあるのは良いと思いました。また、3年生の

教科書に「身の回りの文字」というページがあり、看板職人の方の味わい深い文字やタイプデザイナーの方のお話が掲載されていました。教科の学習をとおして職業を知り、その職に興味を持つきっかけにもなるのではないかと思います。

○教育長

続いて本日欠席の委員からの意見です。

A社は楷書と行書の対比を分かりやすく説明している。加えて、別冊の書写ブックにより生徒が自ら練習することができる。B社は、表紙が書写にふさわしいこと、古典文学作品の視写を取り入れることにより、古典文学への興味を持てるようになる効果が期待できる。

以上の理由からA社とB社を推薦すると伺っています。

○教育長

私は、書写についてはA社とC社を選びました。

A社は別冊の書写ブックがあり、これを教科書の本編と関連させて活用することで、学習効果を高めることができると思いました。また、中学生になって行書を学ぶということは、おそらく生徒が自らの成長を実感できる1つの機会だと思います。そのため、「行書スイッチを入れよう」というタイトルで丁寧な説明がなされ、分かりやすいつくりになっているところが良いと思いました。さらに、そのうえで手書きの良さを考えさせ、日常に役立つ書式で締めるという流れも良いと思いました。

次にC社については、毛筆の基本的な筆遣いの技法を、見開き2ページを使って非常に丁寧に説明している点が良いと思いました。また、行書の特徴の説明においても、常に楷書と比較しながら、全体から細部へ入っていく流れが分かりやすいと思いました。そして、面白い試みだと思ったのが、国語の教科書にも載っている谷川俊太郎の詩です。全く同じレイアウトで、書写の教科書には手書きで掲載されており、活字と手書きの違いによる印象、効果の差を考えさせることができる面白い教材になっていると思いました。

○教育長

委員の皆さんの意見を集約しますと、まず、A社については、5名全員が推しています。次に、B社が3名、C社が2名ですので、A社とB社を採択候補として残したいと思いますがいかがでしょうか。

(各委員同意)

- 教育長 それでは、7月30日の協議では、A社とB社を採択候補として、この中から1社に絞ることとします。
 ここで、議事の都合により暫時休憩とします。

(午前10時20分から午前10時21分まで 休憩)

- 教育長 休憩前に引き続き、協議を再開します。
 次は、音楽一般について協議します。音楽一般の発行者は2社ですので、本日は絞り込みは行わず、ご意見やご感想を伺うのみとし、7月30日の協議で1社に絞りたいと思います。
- 委員 デジタルコンテンツが充実しており、とても良いと思いました。私は義務教育までしか音楽の授業を受けていませんが、もし今回のような教科書で学んでいたら、高校は美術ではなく、音楽を選択していたかもしれないと思いました。生徒はこのような教科書で学ぶことができ、とても幸せだと思います。また、器楽の教科書も年々進歩していて素晴らしいと感じますが、この教科書で教える教員は大変だろうとも思いました。
- 委員 A社は、1年生の教科書の巻頭に有名な女性タレントの方が登場し、その方の動画もあるため、生徒が興味を持てるのではないかと思います。また、2年生や3年生の教科書にも、歌舞伎役者の親子やピアニストの方が出ており、わくわくするような教科書だと思いました。
 続いてB社です。表紙についてはB社の方が良いと思いました。A社の表紙は他の教科でもよくあるような雰囲気、最近の流行を反映していると思いますが、B社の何とも言えない味のある表紙が好きです。巻頭と巻末のページも充実していました。また、君が代の掲載ページには、手触りの違う厚みのある紙を使用しており、特別感が出ていると感じました。
- 委員 A社についてですが、音楽を学ぶことの意義について、有識者が説明しているところが良いと思いました。さらに、著名な作曲家とその代表曲と一緒に掲載されている年譜があり、音楽史を学ぶうえで助けになると思いました。また、「浜辺の歌」や「赤とんぼ」といった曲の伴奏が非常にきれいでした。最後に、各学年の巻末に、国歌に対する礼儀がきちんと記されている点が良いと思いました。

○教育長 音楽一般についても、本日欠席の委員から意見を伺っています。A社は表紙がアニメのイラストであったり、冒頭に重要な写真が掲載されていて、生徒の興味を引くことはできるかもしれないが、妥当かどうか疑問を持った。また、表紙については、個人的な好みだと思うが、B社のほうが上品であり、曲の選定も古典、クラシック中心のようで、学校教育としての音楽の教科書として適切なのではないかと思う。

以上のような意見をいただいています。

○教育長 最後に私の意見ですが、音楽一般については、生徒の歌いたい、創作したい、鑑賞したい等の気持ちを刺激して高める教科書であってほしいと思います。

A社については、目次に続く見開きのページで、音楽の学習内容が3つの領域に分けられ、身につけるべき3つの能力と各教材の関係が一目で分かるよう図示されており、B社のそれと比較しても分かりやすいと感じました。また、歌唱の技能に関するページでは、変声期について一定のスペースを割いて解説している点が良いと思いました。さらに、巻末の見開きページに君が代が掲載されており、その解説についてもA社のほうがポイントを押さえた記述になっていると感じました。

比較してA社のほうが優れているというような意見になっていますが、B社については、使用されている写真やレイアウトが優れていると感じました。これは、音楽の授業に臨む生徒の意欲を高めるうえで、非常に大事なことだと思います。また、著名な作曲家の自筆の楽譜の写真等は、作曲という仕事の凄さが伝わってくるようで、いい視点だと思います。

○教育長 冒頭に述べたとおり、音楽一般については、7月30日の協議で1社に絞りたいと思います。

ここで、議事の都合により暫時休憩とします。

(午前10時29分から午前10時30分まで 休憩)

○教育長 休憩前に引き続き、協議を再開します。

次は、器楽について協議します。器楽についても発行者が2社のため、本日は絞り込みを行わず、ご意見やご感想を伺うのみとし、7月30日の協議で1社に絞りたいと思います。

○委員 A社は、巻頭の打楽器奏者の方からのメッセージや、2次

元コードからその方の演奏を聴くことができるところが良いと思いました。さらに、その動画で演奏している曲が、生徒同士でも演奏できそうで楽しいと思いました。また、2次元コードで伴奏を聴ける曲が多く、ピアノやリコーダーの練習、ちょっとした息抜きにも良いと思いました。

B社は、A社に比べると2次元コードが少なく、音楽や器楽の教科書こそ2次元コードがたくさんあった方が良いのではないかと思う一方で、最近の教科書は2次元コードがたくさんありすぎるとも感じるため、それはそれでいいと思いました。

○委員 A社は、尺八や篠笛の運指を写真付きで非常に分かりやすく説明しており、すばらしいと思いました。加えて、アンサンプルの曲については、多くの中学生が耳にしたことがあるような曲を選んでいる点も魅力的だと思いました。

B社は、「調べてみよう」というところで、楽器の音色の違いについて、写真を使って丁寧に示していました。特に尺八や琴、三味線などの日本古来の楽器についての説明は、とても分かりやすいと思いました。

○委員 私は先ほど器楽についても併せて述べましたので、特にありません。

○教育長 本日欠席の委員からの意見です。

どちらの教科書もリコーダーの演奏法について詳しく丁寧に解説されていると思った。A社は、コラムにより、生徒の楽器演奏についての興味を高めることができる点が優れていると思う。B社は、巻末のリコーダー運指表とコード表を切り離して活用できるそうで、便利だと感じたという意見をいただいています。

○教育長 A社とB社について併せて述べます。それぞれ教科書内で楽器を取り扱っていますが、掲載の順番が全く異なっています。B社は、初めにリコーダー、篠笛、尺八という管楽器、次にギター、琴、三味線という弦楽器、最後に太鼓という打楽器の流れで掲載されており、整理されていると感じました。一方でA社は、和と洋で分けたように感じ、掲載順が少し分かりづらいと思いました。ただし、A社は打楽器のページの中で、多様な楽器に触れている点は評価できました。

どちらの教科書を採択するかに関して、音楽の授業では、

音楽一般と器楽の教科書を併せて使用することが少なくないと聞いているため、その点も考慮する必要があると考えています。

○教育長 器楽についても7月30日の協議で1社に絞りたいと思います。

ここで、議事の都合により暫時休憩とします。

(午前10時35分から午前10時36分まで 休憩)

○教育長 休憩前に引き続き、協議を再開します。

次は、保健体育について協議します。保健体育については4社あるため、この中から本日は2社に絞りたいと思います。

○委員 選んだのはB社とA社です。

まずB社についてですが、各章ごとに学んだ内容とその意義を確認する設問があり、生徒の思考力や表現力を伸ばすうえで良い教科書だと思いました。また、体の働きについて、例えば脳や循環器、肺などの各種臓器の機能が上手に分かりやすく説明されていると思いました。特に中学生にとって関心の高い性の問題についても、生理や子宮及び卵巣の位置について、絵を用いて説明されており、すばらしいと思いました。ほかにもストレスや欲求、情緒等について取り上げており、その説明もすばらしいと思いました。また、それぞれの教科書の巻末に、体のつくりと働きについての図がありますが、これが他社のものと比べて優れていました。加えて、たばこを吸った場合の体への影響が写真付きで説明されており、生徒がイメージしやすくて分かりやすいと思いました。

また、A社もB社と同様に章ごとにまとめの問題がついており、復習しやすいと思いました。

以上により、B社とA社を選びました。

○委員 私もA社とB社を推しますが、まずは全体の感想を述べます。保健体育という教科は、子どもたちが健康に成長し、社会の一員として、よりよい生活を送るうえで大変重要な教科だと考えています。そのことが、どの教科書もよく伝わる内容になっていると思います。どの教科書も課題解決を中心に学習できる工夫がされており、生徒自身の生活に生かすことができる、良い教科書になっていると思いました。また、デ

デジタルコンテンツも充実していると思いました。本日は4社の中から2社を選ぶということですが、いずれの教科書も素晴らしいため大変迷いました。各社とも大きな差はないと思います。

その中で選択したA社についてですが、本文の構成が明確であり、学習しやすいと思いました。まず「ウォームアップ」で学習課題の問題提起がされており、続いて本文に進み、「エクササイズ」で対話的な活動等を通して課題解決を進め、最後に「学びを生かす」で自分の生活の中で実践的な課題に取り組むという構成になっています。「エクササイズ」、「学びを生かす」は、話し合いなどの協働的な学びを促す形式になっているため、言語活動も充実させることができるといいと思います。また、レイアウトについても、グラフや図の大きさ、その位置、イラストの数や色味等も良いと思いました。

次にB社ですが、こちらの教科書も、「つかむ」、「身につける・考える」、「まとめる・振り返る」という構成が明確である点を使いやすいと感じました。さらに、先ほどの委員と同じですが、性に関する内容やたばこの健康に対する影響を学ぶうえで、このB社の教科書はよくできていると感じました。

○委員

A社、B社、D社で迷いました。

その中でもA社は最も良いと感じています。ページが見やすく、イラストやコラムも充実しているため、興味が広がる教科書だと思いました。また、巻頭の「データで見る運動、食事、休養、睡眠」は非常に勉強になると思い、その後の学びを深めていきやすいのではないかなと思いました。

B社は目黒区にゆかりのある書家の方の記事があり、生徒も親近感が湧くのではないかなと思いました。また、「性への関心と性情報への対処」のページや、缶ビールのイラストを用いて分かりやすく説明されている「アルコール量と心身への影響」の資料も良いと思いました。

以上のような点から、A社、B社、D社の間で悩みましたが、A社とB社に決めました。

○教育長

本日欠席の委員の意見もA社とB社です。選定理由ですが、A社は性の多様性、LGBT等について解説がされており、理解を深めることができる。B社も生殖機能や性の多様性に

ついて詳しく説明されている。家庭では学ぶことが難しい問題を取り上げていて、授業でどの程度講義できるかはともかく、生徒にとって参考になると思われる。

このような理由からA社とB社を推薦しています。

○教育長

保健体育は、中学生がこれから生きていくうえで心身両面の支えになる内容を扱う、健全に成長していくために非常に大きな役割を果たす科目であると考えています。その中で、私はA社とC社を選びました。

A社については、表紙を開くと、見開きの左ページに保健体育を学ぶ意味、意義が簡潔に書かれており、3年間で学ぶことを俯瞰できる目次が示されています。他の3社もほぼ同様のつくりになっていますが、A社が最も理解しやすいと思いました。また、各章の入り口で、その章で学習することの狙いが他の3社よりも丁寧に記載されていると感じました。さらに、各章の中の一つ一つの単元が見開きで分かりやすくまとめられており、この点も各社同様のつくりではありますが、A社は単元ごとの課題探しから課題提示、そして、課題解決へのステップが最も整理された形で示されていると思いました。

次にC社を選んだ理由ですが、各単元が見開きで示されている中で、左ページに本文、右ページは資料という思い切ったレイアウトを採用しており、これが非常に見やすいと感じました。また、章末資料が非常に分かりやすく、かつ読ませる内容になっていると思いました。また、章末資料の後には、「学びを活かそう」という記述欄があり、さらに、重要な言葉を並べた学習のまとめもあり、自力でも学習を進められる一冊になっていると思いました。以上の理由からA社とC社を選びました。

○教育長

意見を集約しますと、A社については5名全員、B社については4名が推しているため、A社とB社を採択候補としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長

それでは、7月30日の協議では、A社とB社を採択候補として、1社に絞ることとします。

ここで、議事の都合により暫時休憩とします。

(午前10時48分から午前10時49分まで 休憩)

- 教育長 休憩前に引き続き、協議を再開します。
最後の種目です。道徳について協議します。道徳については7社ありますので、この中から本日は3社程度に絞りたいと思います。
- 委員 全体の印象を先に述べます。道徳が特別の教科となつてから一定の年数が経過し、生徒自ら考え、互いに学び合うことができる教科書になってきたと感じています。また、デジタルコンテンツも豊富になってきており、活用次第では豊かな授業ができるだろうと思いました。
私はB社、D社、E社を選択しました。この3社以外にも、例えばA社は「ウェルビーイングカード」を導入し、各教材で活用できるようにしており、生徒の考えを引き出しやすく、話し合いの中で用いることによってお互いに考えを深めて自己理解、他者理解が進むといった可能性を持たせており、意欲的な編集だと思いました。しかし、実際の授業の中でどう活用できるのかが少しイメージしづらく、残念ながら採択候補には入りませんでした。また、G社も、例えば4人の登場人物が1年生、2年生、3年生の教科書にそれぞれ登場しており、教科書の中で成長していくという編集が意欲的だと思いました。
次に、選んだ3社について理由を述べます。
まずB社ですが、ユニット教材として、「いじめを考える」、「情報モラル」、「キャリア」、「ともに生きる社会」の4つを定めています。B社は思わず読み進めてしまうような良い教材だと思いました。道徳の教科書というと、結論が見えているような教材や、生徒の考えを誘導するような教材も中にはあります。ところがB社は、生徒が自然に自分を顧みることができるような教材が多く、特に課題解決的な学習を想定する教材では、異なる立場からの多様な主張や対立的な主張が描かれており、生徒が真剣に考えざるを得ないような教材になっていると思いました。例えば「いつでも・どこでも・SNS」という2年生の教材では、食事中にSNSを発信し

たことによって食事の席が気まずくなるという場面を取り上げており、生徒にとって、とても身近な話題だと思いました。また、3年生の教材には「ベビーカー論争」というテーマがあり、私も車内で感じるようなことが記載されていて、とにかく教材を通して意見が分かれる、そしてそれを話し合うことによって深めていくことができる、見事な教材になっていると思いました。さらに、「マイプラス」という問題解決的な学習や、体験的な学習などの多様な学習を通して、様々な視点からテーマを掘り下げられるようなところがあり、これもよく工夫されていると思いました。加えて「Thinking」というコラムが各学年にあり、教材の学びが深まったり広がったりすると思いました。地域を題材にした教材が多い点も良いと思いました。

次にD社ですが、ユニット教材として「よりよい社会を考える」、「いじめと向き合う」の2つを設定しています。D社は、学習活動が目当てを得る「学びのキーワード」、「考えてみよう」、「自分にプラスワン」、「あすへのメッセージ」という構成になっており、学習を進めやすいと感じました。また、「学びを深めよう」では、問題解決学習や体験学習などの提案、そして多様な学習方法の提示があり、学習を深めることができると思いました。また、教材に登場する人物は、これまで時代を切り開いてきた人や、今を積極的に生きている人が多く、この教材の人物の取り上げ方がとても良いと思いました。コラムの数も多くて良いと思いました。さらに、生徒がノートに書いた手書きの文字をデータ化する「OCRサービス」というものがあるそうで、私は体験できていませんが、教員は随分楽になるのではないかと思います。なお、附属している「道徳ノート」については教員によって賛否両論あると思いますが、ワークシートを作成しないで授業をすることも可能であるとのことですので、否定すべきものではないと考えています。

最後にE社ですが、E社は幾つかの教材が関わりながらテーマに向かって考えられるような構成になっており、結果的に全ての教材がどこかのユニットに入るような構成になっている点が非常に新鮮に感じました。また、「考えよう」、「見方を変えて」、「つなげよう」という流れが、課題を深く考

えるうえで良い構成だと思いました。さらに、「チャレンジ」の「問いを立てよう」や「演じて考えよう」、「やってみよう」といった課題設定も新しい試みだと思いました。また、「学びをプラス」は教材をさらに深めるような内容になっており、特に1年生では「感動の本質を探ろう」、2年生では「尊重の本質を探ろう」、3年生では「学びの本質を探ろう」という本質を探る教材から、この教科書の積極的な姿勢を感じることができました。コラムも現代的な課題を取り上げており、工夫されていると思いました。

○委員

昨年中学校の道徳の授業を参観して感じたことがあります。ある教材に対して、生徒がそれぞれ学習用情報端末に自分の意見を入力し、前方のスクリーンに投影して互いの意見を共有していたのですが、とにかく忙しそうに感じました。もう少しじっくりと話せたら良いのではないかと思いました。その授業限りではなく、その後も教科を横断して考えを深めていくということではありましたが、もっとじっくり話を聴き合い、深めていけたらよいと思いました。また、教材については、最初から導くような言葉は必要はなく、シンプルなものが良いと思っています。

そこに全て当てはまるわけではないですが、今回選んだのはB社、C社、E社です。B社は教科書が小さくて持ちやすく、目次も非常に見やすいと思いました。また、設問もシンプルで良いと思いました。また、教材も良く、特に1年生の「2人の通学路」という話の中で出てきた人物が、3年生の「2人の進路選択」という話にも登場するため、その人物の成長した様子を見ることができて面白く、興味深く読んでいました。B社が一番良いと思っています。

次にC社ですが、見開きの写真がどれも非常に美しいところに最も惹かれました。2次元コードにも興味深い内容があり、例えば「未来の仕事を探せ」には、多種多様な仕事の紹介がありました。

最後にE社ですが、「とくまる」というかわいいキャラクターが登場していて良いと思いました。また、各学年の後半のページに、付録として小学校の時に学んだであろう道徳の教材を掲載しており、その頃より成長した現在の生徒が、小学生のときに学んだことをもう一度学び直したら、どんなこ

とを感じたり考えたりするのか、非常に興味深く感じました。

○委員

世界に認められる素晴らしい日本人が育つのは、この道德の授業のおかげなのではないかと思いながら各社の道德の教科書を読みました。

私はF社が最も良いと思いました。命の大切さや他人との関わり方など、教たい内容が非常に短い文章でまとめられており、生徒が退屈に感じることなく内容を理解できるのではないかと思います。国語の文章は長くても良いと思いますが、道德は短い文章の方が分かりやすく良いと思います。また、教材の初めに学ぶ目標があり、最後に「学びの道しるべ」というまとめが順序よく示されている点も教材として素晴らしいと感じました。

次にB社です。まず「たったいちどの、きみのみらいへ」という表題がとても良いと思いました。また、特にいじめ問題について、図などを取り入れて分かりやすく説明されており、どのようなことがいじめにつながるのかについて、生徒が十分に理解できるのではないかと思います。

次にG社ですが、1年生から3年生まで教科書に同じ人物が登場するため、生徒はその人物の成長過程を自身と照らし合わせながら見ることができると思います。このような教材は身近で良いと思いました。

○教育長

本日欠席の委員ですが、C社、F社、G社を挙げています。その理由は、G社は道德を学ぶ意味について冒頭で簡潔に説明されている。裏表紙の引用も道德という教科に適したものである。各題材の文章もある程度の分量があってオーソドックスなものであり、生徒が読んで深く考えるために分量、内容ともに適切であると思った。C社も各題材の分量、内容ともに適切であり、現代的なトピックスと伝統的な題材が織り交ぜられていて生徒の興味を引くことができそうに思った。F社は、各題材の分量が十分であり、読んで生徒に考えさせることができそうであり、内容も現代的なトピックを取り上げていて、身近に起こっていることとして捉えることができそうに思った。

以上のような理由からC社、F社、G社を選択しています。

○教育長

私はC社、D社、G社の3社です。道德については、この科目を通じて生徒一人ひとりが社会の一員として求められる

共通のモラルを深く考えてほしいこと、また、1つの言動に対して多様な見方があることを知り、多面的な見方のできる人になってほしいこと、といった視点をもって選びました。

まずC社ですが、巻頭で「さまざまなテーマで学ぼう」とあるとおり、1つ目の教材は現代の非常に身近なテーマから入っています。また、巻末の「学びの記録」と「学びのメモ」についても、生徒が負担なく振り返ることができ、良いと思いました。

次にD社です。道徳では何を学ぶのかという導入部が非常に丁寧であり、掲載されている教材も非常に身近で、気持ちを安定させてくれるような題材が多いように感じました。また、サブノートは全て使用すると分量が少し多いとは感じましたが、授業での使い方次第でカバーできると考え、よしとしました。

最後にG社ですが、冒頭の道徳を学ぶことの意義についての記述が最も適切であると思いました。また、「どうせ無理という言葉に負けない」という教材があり、能力的に突出した人間の成功物語ではないため生徒を大いに勇気づけるものだと思い、これはぜひ読ませたいと思いました。また、複数の教材をまとめて「いじめのない世界へ」や「いのちを考える」という2つの大きなテーマを示すことで、中学生にとって大切なメッセージを発信している点も良いと思いました。

○教育長

意見を集約しますと、B社を推したのが3名、C社も3名、D社、E社、F社が2名、最後、G社が3名となりました。本日は3社程度に絞り込みということですので、B社、C社、G社の3社を採択候補としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長

それでは、B社、C社、G社を採択候補として残すこととします。

以上で、1回目の教科書採択の協議を終わります。

ここで、議事の都合により暫時休憩とします。

(午前11時14分から午前11時15分まで 休憩)

- 教育長 休憩前に引き続き、会議を再開します。
議題に入りますが、日程第2及び日程第3は区政執行情報に関する案件ですので、目黒区教育委員会会議規則第11条第1項ただし書の規定に基づき、会議を非公開にすることについて発議します。それでは、同条第2項の規定に基づき、討論を行うことなしに直ちに可否を図ります。
非公開とすることに賛成の委員は挙手を願います。

(全員挙手)

- 教育長 それでは、日程第2及び日程第3については、非公開により審議することとします。

(午前11時16分から午前11時28分まで 非公開会議)

- 教育長 ここからは、会議を公開します。
日程第4から日程第9については、前回の教育委員会定例会にて協議いただいた条例改正等に関する内容ですので、一括して議題とします。なお、質疑と採決は個別に行います。

(日程第4 議案第26号 目黒区立林間学園条例の一部を改正する条例の立案請求について)

(日程第5 議案第27号 目黒区立緑ヶ丘小学校等の屋内プールの使用に関する条例の一部を改正する条例の立案請求について)

(日程第6 議案第28号 目黒区立学校施設使用条例の一部を改正する条例の立案請求について)

(日程第7 議案第29号 目黒区めぐろ区民キャンパス付帯駐車場条例の一部を改正する条例の立案請求について)

(日程第8 議案第30号 目黒区立社会教育館条例及び目黒区緑が丘文化会館条例の一部を改正する条例の立案請求について)

(日程第9 議案第31号 目黒区青少年プラザ条例を廃止する条例の立案請求について)

- 教育政策課長 (資料により説明)

- 教育長 日程第4についてご質問等がありますか。

特にないようですので、採決を行います。
本案に賛成の委員は挙手を願います。

(全員挙手)

○教育長 全員賛成ですので、議案第26号は原案どおり可決します。
次に、日程第5についてご質問等がありますか。
特にないようですので、採決を行います。
本案に賛成の委員は挙手を願います。

(全員挙手)

○教育長 全員賛成ですので、議案第27号は原案どおり可決します。
次に、日程第6についてご質問等がありますか。
特にないようですので、採決を行います。
本案に賛成の委員は挙手を願います。

(全員挙手)

○教育長 全員賛成ですので、議案第28号は原案どおり可決します。
次に、日程第7についてご質問等がありますか。
特にないようですので、採決を行います。
本案に賛成の委員は挙手を願います。

(全員挙手)

○教育長 全員賛成ですので、議案第29号は原案どおり可決します。
次に、日程第8についてご質問等がありますか。
特にないようですので、採決を行います。
本案に賛成の委員は挙手を願います。

(全員挙手)

○教育長 全員賛成ですので、議案第30号は原案どおり可決します。
最後に、日程第9についてご質問等がありますか。
特にないようですので、採決を行います。

本案に賛成の委員は挙手を願います。

(全員挙手)

- 教育長 全員賛成ですので、議案第31号は原案どおり可決します。
次に、日程第10を議題とします。

(日程第10 令和6年度目黒区教育委員会の権限に属する事務の管理及び
執行の状況の点検及び評価(令和5年度分)報告書(素案)に
ついて(報告事項))

- 教育政策課長 (資料により説明)

- 教育長 この件についてご質問等がありますか。
特にないようですので、この報告を受けました。
次に、日程第11を議題とします。

(日程第11 ランランひろばのサービス拡大について(報告事項))

- 生涯学習課長 (資料により説明)

- 教育長 この件についてご質問等がありますか。
特にないようですので、この報告を受けました。
次に、日程第12を議題とします。

(日程第12 教育委員会名義の使用承認状況について(報告事項))

- 教育政策課長 (資料により説明)

- 教育長 この件についてご質問等がありますか。
特にないようですので、この報告を受けました。

- 教育長 その他なにかありますか。

- 学校統合推進課長 先週7月6日に、目黒南中学校、目黒西中学校の説明会
を実施しました。第八中学校で実施した目黒西中学校の説明会
の出席者数は104名、第七中学校で実施した目黒南中学校の
説明会の出席者数は75名でした。

質疑応答では、部活動、教員配置、通学負担の緩和などにつ
いての質問があり、それぞれ回答しています。説明会のご意見

も踏まえて、引き続き、丁寧な対応をまいります。

○生涯学習課長 原町小学校で希少な金庫式奉安庫が発見されたという記事が7月6日の新聞に掲載されました。こちらは戦時下において教育勅語の謄本等を保管していたというようなものになります。現在、めぐろ歴史資料館において一般公開に向けて準備をしているところです。

○教育長 その他なにかありますか。
特にないようですので、以上で本日の定例会を閉会します。

(午前11時51分閉会)